

# いたくら 議会だより

## 今月の 主な内容

- ◆6月定例会・議案審議 …………… 2 P
- ◆一般質問（4人）…………… 4 P
- ◆特別委員会の設置・新議員研修会 8 P
- ◆意見交換会・議長室エッセイ …… 9 P
- ◆町政へ一言・編集後記 …………… 10 P

2019 8 / 1

第150号



初期消火訓練（バケツリレー）を行う少年消防クラブ  
各種団体が簡易土のう作り、応急手当訓練などを体験  
6月23日（日） 町避難訓練・町総合防災訓練

# 一般会計・特別会計補正予算を可決 介護保険料の軽減に関する議案を可決 一般質問に4人の議員が登壇

令和元年第2回板倉町議会定例会が、6月5日から11日までの7日間の日程で開催されました。今回の定例会では、同意1件、報告3件、条例の一部改正議案1件、財産の取得に関する議案2件、令和元年度補正予算議案3件、特別委員会の設置に関する発議3件の計13議案が審議され、いずれも原案どおり全会一致で可決となりました。

## 議決議案

◆板倉町介護保険条例の一部を改正する条例について

平成31年3月29日に介護保険法施行令の一部が改正されたことから、条例の一部を改正するものです。改正内容としては、令和元年10月の消費税率10パーセントの引き上げに合わせて、平成27年4月から実施している低所得の介護保険第1号被保険者（第1段階から第3段階まで）に係る保険料の軽減を更に拡充するものであり、平成31年4月1日からの適用となるものです。

◆財産の取得について  
（庁内LANパソコン購入）

◆財産の取得について  
（板倉町立小中学校情報機器整備事業）

マイクロソフトウインドウズ7のサポート期間が令和2年1月14日をもって終了することから、役場庁舎内すべてのパソコン及びソフトウェアを更新するものです。契約の相手方は、㈱シー・ビー・エス、契約金額3,510万円（消費税込み）となります。

庁内LANパソコンの購入と同じ理由により、東小学校、西小学校、板倉中学校のパソコン及びソフトウェア等を更新するものです。契約の相手方は、(有)三田三昭堂、契約金額2,197万8千円（消費税込み）となります。

## 補正予算審査

議案第19号 令和元年度板倉町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,523万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億3,223万2千円とするものです。

### 市川委員

防災対策費の広域防災情報伝達システム事業に200万円の追加とある。転入世帯への戸別受信機配布分ということだが、何世帯の転入があったのか。

### 落合総務課長

平成30年10月13日から令和



元年5月末までに、集合住宅や福祉施設等も含めて99世帯の転入がありました。このような状況を考慮して、100台分を追加購入するものです。



▲追加購入予定の防災ラジオ

### 青木委員

児童福祉総務費の幼児教育・保育無償化に伴うシステム改修委託料の追加とある。消費税率が引き上げられなくても無償化されるということか。また、その場合の負担はどのようになっているのか。

### 橋本福祉課長

子ども・子育て支援法が改正され、無償化されることが決定されています。また、次年度以降は地元負担を伴うことになっていますが、国の説明では地方交付税に反映させたり、地方消費税等で補填を

するということになっています。

議案第20号 令和元年度板倉町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ70万円を追加し、歳入歳出予算の総額を13億4,077万8千円とするものです。

### 荒井委員

介護保険料の減額に関して、第1号被保険者の特別徴収分が390万4千円、普通徴収分が113万6千円ということだが、人数の内訳を伺いたい。

### 小野寺健康介護課長

第1号被保険者の第1段階の方が554人、第2段階の方が259人、第3段階の方が222人の合計1,035人となっています。

議案第21号 令和元年度板倉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,045万円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億637万7千円とする

るものです。

### 針ヶ谷委員

水質浄化センターの落雷による機械の故障に対する修繕料として1千万円の追加とある。修繕とは別に落雷対策の経費は含まれているのか。

### 峯崎住民環境課長

今回の補正予算は修繕のみであり、落雷対策に関しては今後見直しをしていきたいと考えています。なお、今回の故障は、敷地内の電柱に落雷があり、電話線を通じて、メインパネルに電流が流れ込んだことが原因となります。



▲落雷により故障したメインパネル

◆補正予算関係の3議案については、6月6日の一般質問終了後の本会議において、予算決算常任委員長による審査結果報告の後、全会一致で原案どおり可決となりました。



# 一般質問

議会 2日目  
6月6日(木)

① 森田 義昭 議員

## 災害時にかかせない防災ラジオについて 先の町議会議員選挙における経費は

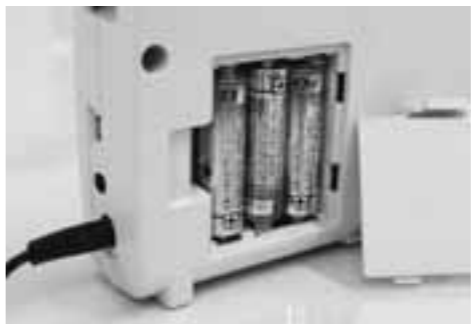


防災ラジオ配布後のクレーム等について

問・防災ラジオについて、何かクレームが町民よりきているのか伺いたい。

答・総務課長 配布後に多くの問い合わせをいただいたのはACアダプターの異常で40件ほどあり、具体的にはACアダプターから振動等、小さな音が出るということと交換している。また、若干熱を持つとあるが、高温になれば自動で電源が遮断されるので心配はない。

問・防災ラジオは、停電した場合、自動的に乾電池か



▲防災ラジオの乾電池は予備のご用意を

答・総務課長 通常はACアダプターより電源を取ってもらって、停電した時に乾電池に切り替わるが、乾電池だけでは、3日ないし2日で電源切れになってしまうので、もしもの時に備えて予備の

ら電源を取るよう切り替わるが、乾電池では何日くらい持つのか伺いたい。

乾電池は常に用意しておくことが望ましい。また、乾電池は1年に1度は交換をお願いしたい。

### 洪水避難タワーについて

問・下五箇の洪水避難タワーは柵で通常鍵がかけられているが、誰が開けるのか。また、洪水避難タワーを他にも造る予定があるのか。



▲下五箇の洪水避難タワー

答・総務課長 鍵は、町と地区の区長さんが持っている。また、洪水避難タワーを新たに造る場合は、場所等について、想定浸水深、ハザードマップ等考慮して、慎重に検討していきたいと考えている。

### 園児の屋外活動について

問・園児の屋外活動について

答・福祉課長 板倉町の町立保育園では、年に2回、近くの公園等に遠足、また、月に数回程度、園の周りを散歩しているが、主として交通量の少ない道路や園の近くの田んぼ道、ほとんど車が入ってこないような道で実施している。いずれの場合でも、常に保育士が前と中間と後方について、1列で隊列を組んで実施している。

### 板倉ニュータウン産業用地の進捗状況について

問・板倉ニュータウン産業用地の進捗状況について伺いたい。

答・産業振興課長 全体の総



面積、約46・6ヘクタールのうち、23・6ヘクタールが分譲済み、残り23ヘクタールについても全区画について引き合いが来ている。

### 町議会議員選挙の経費について

問・先の当町の町議会議員選挙には、町の経費として、いくら位かかったのか伺いたい。

答・総務課長 町議会議員選挙の全体の経費としては、約760万円であった。仮に無投票になったとしたら約310万円程度取まったかと計算できる。投票が行われたことで、プラス450万円の経費がかかったということになる。

# 一般質問

議会 2日目  
6月6日(木)

② 青木 秀夫 議員

## 合併協議会休止の真相は 幹事会主導、合併協議会軽視の責任は重大



### 幹事会の役割は

問・副町長は、法定合併協議会の中で幹事会(注釈1)の役割をどのように位置づけているのか。

答・副町長 幹事会は、合併協議会へ提案する協議事項を事前に調整する役割をしている。そうであるから幹事会で調整のつかない事項は、合併協議会へ提案することはあり得ないと認識している。

ゆがめた財政シミュレーションの提出の目的は

問・第13回合併協議会への提出資料(注釈2)について、幹事会の委員間で以下のような発言が幹事会の議事録(公文書)に載っている。館林市栗原企画課長「この資料の数字は、何を意味しているのかわかりにくい」、同田沼政策企画部長「この資料を見て、合併協の委員はわかるかな」、板倉町中里副町長「この表が何を意味しているのかわかりにくい」とある。そのようにわかりにくい資料を合併協議会に提出して、合併協の委員に協議させる目的は何か。ただ、協議会を混乱させるためか。それとも協議会の委員をだまそうとするための資料提出なのか。

答・副町長 この資料について

では、我々も目を通して見る。その結果、非常に難しいものがあつた。どういう前提でシミュレーションをかけるかということが難しかったという記憶をしている。



▲合併協議会だより

### 合併つぎの意図丸見えの財政シミュレーション

問・第13回合併協への提出資料は、悪い数字を示して合併をつぶそうという意図が丸見えで、財政シミュレーションとは程遠



答・副町長 少子高齢化、人口減少社会が進行している中で、社会保障費の増加を想定すれば、そういうものも必要であるということでの発言であつたと記憶している。

### (意見)「52の協定項目は合併協で協議すべき」と議決済み

○平成28年7月15日の第1回合併協議会で「52の合併協定項目は、合併協議会で協議すべきものとす」との議案が提出されて全会一致で可決している。にもかかわらず中里副町長は、「幹事会で調整つかない協定項目は、合併協議会に議題として提案することはありえない」と議会で度々答弁している。合併協議会飾り物説を一貫して述べている。副町長は、その議案可決の事実を忘れているのか。それとも事実を承知の上で、その場しのぎの御都合主義で発言しているのか。そうであれば責任は重大である。

### ○用語の注釈(5ページのみ)

- 幹事会(注釈1)  
：館林市副市長ほか2名、板倉町副町長ほか2名、計6名で構成された合併協の下部組織資料(注釈2)
- ：平成30年第13回合併協議会に提出された財政シミュレーション(財政推計)



一般質問

議会2日目  
6月6日(木)

③ 小野田富康 議員

町の防災力向上のために  
災害用ドローンの導入と防災士の活用を



災害用ドローンの導入について

問・現在、空撮・測量・農業・物流等に幅広く利用されているドローンであるが、防災の分野においても活用が進んでいる。水害・火災・捜索救助活動にも有用であると考ええる。町としてもドローンの導入を検討すべきであると考ええるか。

答・総務課長 非常に有効な機器であるとは考えているが、まだ具体的に購入も含めた導入については検討していない。

問・静岡県の焼津市においては市と消防が一体となってドローンを導入して活用している。消防と連携してドローンの導入を検討してみてもいいか。

答・総務課長 いずれは消防本部においても導入の検討がされていくかと考えているが、購入に向けての具体的な検討は行われていない。

使われなくなる南小・北小の活用としても

問・いざ導入するとなったとしても扱える人材がいなければどうしようもない。将来の導入に向けて訓練用のドローンも必要と考える。また、現在遊水地においてドローンの講習会・研修会が行われているか。

答・企画財政課長 小学校再編に伴い空く南小と北小についてはまだ検討段階で

ている。町職員等人材育成の観点からも来年度から使われなくなる南小・北小の教室・校庭・体育館をさらに講習会場として活用することは可能か。

答・企画財政課長 小学校再編に伴い空く南小と北小についてはまだ検討段階で

あるが、検討したいと思う。

防災士について

問・現在板倉町には何名の防災士資格取得者がいるのか。

答・総務課長 今年の4月末時点で全国で17万3,611名、群馬県内で1,637名、本町においては27名の登録者がいる。

問・昨年度、消防団の分団長以上の経験者に対して申請費を助成し資格取得を促したが、その人数は。

答・総務課長 消防団OBが16名、行政区からの推薦を受けて講習を受講し取得した方が4名、合計20名に補助金を交付した。

問・今後も町で助成金を支出して防災士を増やしていく予定なのか。最終的には何名くらい確保したいのか。

答・総務課長 多ければ多いほどありがたいが具体的な人数、計画はない。

問・防災士であっても個人の活動には限界があり非効率な部分も出てくる。今後効率的な活動をしていただくためにも組織化することが必要かと思うが、その予定は。

答・総務課長 今後は先進地の事例を調べ、防災士同士の情報交換等も含めて組織化を図っていききたい。

問・防災士のレベルを維持していくために、講習会・研修会を定期的実施すべきと考ええるか。

答・総務課長 まだ検討段階であるが、県から職員を派遣して訓練を実施するという制度があるので、そういうものを利用していききたいと考えている。

問・来年度から実施の小学校統合に係るバス通学での停留所における安全管理をどのように計画しているのか。

答・教育委員会事務局長 学校関係者、PTA、館林警察署の提案と指導のもと安全な場所を選びバス停の場所を設定した。バス通学、徒歩・自転車通学についての安全対策マニュアルを新しく作成中である。先進地視察として埼玉県川島町での研修を予定している。

問・ここ数年、出生数が50名前後で推移している状況で小学校の再々編は考えているのか。

答・教育委員会事務局長 小学校の再々編を視野に入れ推計した経緯はある。一番大きな西小学校に統一するには令和6年まで物理的に無理な状況である。

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

▲板倉町PR大使

一般質問

議会2日目  
6月6日(木)

④ 針ヶ谷稔也 議員

公民館をもっと有効に活用しよう  
ホームページをわかりやすく便利に



公民館の活用について

問・トイレの電気を感知式に改修できないか。

答・教育委員会事務局長 経常的にトイレが暗いのは現実。改修にはそこその金額がかかる。乾電池式の感知式センサーでスイッチのところまで誘導する対応を考えていきたい。
問・ホームページで活動団体や内容の確認ができるようにならないか。
答・教育委員会事務局長 公民館の主催事業のお知らせ、利用団体・サークルの紹介、活動内容などが

▲のちに設置されたセンサーライト

問・高齢者のコミュニティの場所としてもっと活用できるのではないか。

答・教育委員会事務局長 公民館を高齢者のコミュニティの場所として活用することは、目指しているところの一つである。事業やイベントなどがなく

問・高齢者のコミュニティの場所としてもっと活用できるのではないか。

答・教育委員会事務局長 公民館を高齢者のコミュニティの場所として活用することは、目指しているところの一つである。事業やイベントなどがなく

問・高齢者のコミュニティの場所としてもっと活用できるのではないか。

答・教育委員会事務局長 公民館を高齢者のコミュニティの場所として活用することは、目指しているところの一つである。事業やイベントなどがなく

問・高齢者のコミュニティの場所としてもっと活用できるのではないか。

答・教育委員会事務局長 公民館を高齢者のコミュニティの場所として活用することは、目指しているところの一つである。事業やイベントなどがなく

問・高齢者のコミュニティの場所としてもっと活用できるのではないか。

答・教育委員会事務局長 公民館を高齢者のコミュニティの場所として活用することは、目指しているところの一つである。事業やイベントなどがなく

でも高齢者に来ていただくような考えていきたい。

問・役場の窓口業務の代行ができないか。
答・住民環境課長 システムの導入と維持管理に相当の費用が掛かり、本人確認用のマイナンバーカードの取得率も10パーセント弱であるため、公民館で端末を設置し発行業務を行うことは厳しい状況である。職員による代行は条件が整備できれば可能と考える。ただ、現状でも窓口へお越しただけな町民の方へは、郵送請求による各種証明書の発行サービスを行っている。小為替等による手数料と本人確認用のマイナンバーカード・免許証や保険証のコピーを同封していた方法である。

小中一貫教育について

問・来年度から実施の小学校統合に係るバス通学での停留所における安全管理をどのように計画しているのか。

答・教育委員会事務局長 学校関係者、PTA、館林警察署の提案と指導のもと安全な場所を選びバス停の場所を設定した。バス通学、徒歩・自転車通学についての安全対策マニュアルを新しく作成中である。先進地視察として埼玉県川島町での研修を予定している。

問・ここ数年、出生数が50名前後で推移している状況で小学校の再々編は考えているのか。

答・教育委員会事務局長 小学校の再々編を視野に入れ推計した経緯はある。一番大きな西小学校に統一するには令和6年まで物理的に無理な状況である。

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では

問・小中一貫教育についてはどの時点で検討をはじめのか。教育長の考えを伺いたい。

答・教育長 私的な判断では



人事案件

◆監査委員の選任について
6月5日議会初日、議員選出による板倉町監査委員の青木秀夫氏の任期が、平成31年4月30日(議員の任期)をもって満了となったため、新たに黒野一郎氏を選任することに同意しました。

特別委員会

6月5日議会初日、議長発議により、3つの特別委員会が設置されました。特別委員会は、調査終了まで閉会中も継続的に審査、調査研究を行います。委員会構成は次のとおりです。

- ◆板倉ニュータウン対策特別委員会
青木 秀夫 委員長
針ヶ谷稔也 副委員長
今村 好市 委員
本間 清 委員
小林 武雄 委員
小野田富康 委員
◆板倉高校教育環境対策特別委員会
黒野 一郎 委員長
亀井 伝吉 副委員長
市川 初江 委員

議員派遣

6月11日議会最終日、次の研修会へ議員を派遣することに決定しました。
◆群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会
目的 議会議員としての一般教養を高めるため
場所 群馬県市町村会館
期間 令和元年6月24日(月)
派遣議員 新議員等

◆群馬県町村議会議長会主催の議員研修会
目的 議会の活性化に資するため
場所 吉岡町文化センター
期間 令和元年10月25日(金)
派遣議員 全議員
◆全国町村議会議長会主催の議会広報研修会

- ◆議会広報特別委員会
荒井 英世 委員
森田 義昭 委員
小林 武雄 委員長
小野田富康 副委員長
本間 清 委員
亀井 伝吉 委員
森田 義昭 委員
針ヶ谷稔也 委員

- 目的 議会広報紙作成上の一般的な知識習得のため
場所 シェーンバツハ・サボ(東京都千代田区)
期間 令和元年9月24日(火)
派遣議員 議会広報特別委員
◆群馬県町村議会議長会主催の議会広報研修会
目的 議会広報紙作成上の一般的な知識習得のため
場所 群馬県市町村会館
期間 令和元年11月18日(月)
派遣議員 議会広報特別委員
◆邑楽郡町村議会議長会主催の議員研修会
目的 議会議員としての一般教養を高めるため
場所 ジョイハウス(館林市)
期間 令和2年2月14日(金)
派遣議員 全議員



▲昨年度の県町村議会議員研修会の様子

議員と国家公務員との意見交換会

令和元年6月11日(火)、役場大会議室を会場に議員と国家公務員との意見交換会が行われました。
今回の意見交換会は、6月10日(月)から6月14日(金)まで、国家公務員の初任行政研修に係る「地方自治体実地体験」研修の一つとして行われたものです。意見交換会のテーマは「地方議会議員のなり手不足について」です。

経済産業省、国土交通省から1名ずつ、計3名が出席しました。
意見交換会では、地方議会における議員のなり手不足に関する問題に対して、議員報酬に関することや、産業構造の変化によって議員になれるような人たちが町から居なくなってしまうことなどが話し合われました。議員にとっても現状を考える良い機会になりました。



▲国家公務員3名と意見交換を行う町議会議員

行政視察の受け入れ

月日 5月31日(金)
議会名 福島県田村郡小野町議会
議員11名
内容 庁舎建設に係る取り組みと庁舎施設について



研修レポート

群馬県町村議会議長会新議員研修会

6月24日(月)、群馬県市町村会館において、群馬県町村議会議長会主催の新議員研修会が開催されました。出席した議員は、県内の各町村から約50名、板倉町からは小野田富康議員が出席しました。

研修会では、「地方議会の制度と運営について」と題して、同議長会次長の峯岸茂己氏が講師となり、「議会の運営には決められた一定のルールがあるため、議員一人ひとりがそのルールを理解しておかなければならないこと」や「議会は何を行うのか」、「議会審議の流れ」などについて分かりやすく説明されました。大変、有意義な研修会となりました。



◆新議員研修会・意見交換会・議長室エッセイほか

議会日誌

- ◆6月
3日 町議会新議員勉強会
5日~11日 6月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会)
9日 町民スポーツフェスティバル
11日 議員と国家公務員との意見交換会
13日 百寿者慶祝訪問/町農業近代化資金審査委員会
18日 町社会福祉協議会評議員会
19日 館林地区暴力団追放推進協議会役員会・定期総会
20日 全員協議会(臨時)/町総合農業振興協議会
23日 町避難訓練・町総合防災訓練
24日 群馬県町村議会議長会新議員研修会
27日 例月出納検査
30日 板倉消防団ポンプ操法競技大会
◆7月
3日 板倉まつり運営委員会
5日 邑楽館林医療事務組合議会臨時会
8日 群馬県水道企業団議会7月臨時会
12日 議会広報特別委員会
16日 総務文教福祉常任委員会
17日 産業建設生活常任委員会
19日 群馬県町村議会議長会理事会
22日 邑楽館林地域施策推進協議会
23日 全員協議会/議員のみ協議会
24日 町農業近代化資金審査委員会
26日 館林警察署管内防犯協会役員会・定期総会
30日 加須・板倉利根川新橋建設促進協議会総会
31日 例月出納検査

議長室エッセイ 議長 延山宗一

大丈夫という過信に要注意
最近、高齢者が運転する自動車事故が後を絶たない。原因はアクセルとブレーキの踏み間違いによるもの。相次ぐ事故を踏まえて、高齢者ドライバー向けの新たな運転免許制度の創設や一定年齢での免許証返納の義務付けとの声がある。
群馬県は、県民1人あたりの自動車保有台数や免許保有率が全国トップクラスで、家に平均2台以上の自動車を保有しているという。仕事、買物、病院など、自動車依存型の生活により、自動車なしでの生活は難しく、そう簡単には変えられない。
自分は健康で、運転には自信があるから「大丈夫」とハンドルを握っていることで、免許証の返納には大きな決断が必要となる。運転は年齢ではなく、身体機能の差によるものである。自分の感覚を過信せず、一つ一つの動作に神経を集中して、細心の注意で運転をしなければならぬ。
高齢者ドライバーによる悲惨な交通事故が繰り返されることのないよう、新たな移動手段の確立や安心して利用できる環境整備が課題と言える。今後は、幅広い視点から政策を考えることが望まれる。

災

害へ備える力を

町民、行政が一体となる防災活動



大字西岡 船渡 治さん

板倉町に移り住んで10年目となります。その間にも東日本大震災や全国各地での豪雨など、様々な自然災害が発生

しています。この板倉町も低平地の地形で、気象条件次第では大きな災害に襲われる可能性があると考えられます。

本年度から防災ラジオが配布され、災害時の情報収集として活用が期待されます。しかし現状は、私たちが避難する際に必要となる具体的な情報がありません。もっと詳細

な伝達方法などをマニュアル化し、訓練の段階から運用する必要を感じています。来年度より小学校再編でスクールバスの運用が始まります。また、高齢者の免許返納の動きも加速しています。必要となる防災教育を通して、安心・安全な町づくりをお願い致します。

多

様化するニーズに応じて

一次産業から魅力ある板倉町に



大字粉谷 松本浩幸さん

間で変わってきています。

これからは、遊水地を活用しながら、大学も駅もある街を大きくPRし、若い世代の移住支援や空き家対策も取り入れることで、古き良き時代の農業ではなく、多様化するニーズに応える魅力ある豊かな農業へ、また若い力が定着する町へと声を上げて頂きたい。

最近、農業分野においてもIOTを取り入れられたり、食の安全性や働き方の変化など、農業に対する考え方が若者の

農業女子・スローライフといった言葉を聞くようになりました。私どもの所にも農業研修を希望する女性が増えてきています。子どもには、安全でおいしい野菜を食べさせたいと考える若い親も多いようです。大量生産、大量消費ではなく、地産地消の考え方

に変わってきているようです。

編集後記

町議会議員選挙後初めての定例会において、議会広報特別委員会が設置され、1期・2期の委員6名が選任されました。議会だよりの発行に向けて、互いに協力しながら作業を進め、町民の皆さまに親しまれ、見やすく、読みやすい紙面づくりに努力してまいります。

さて、宇宙では探査機はやぶさ2号が小惑星りゅうぐうの表面に2回目の着陸を果たしました。地下の岩石破片の採取にも成功し、2020年末の帰還と試料の持ち帰りに期待が高まっています。今では私たちの生活に欠かすことのできないGPSや気象衛星ひまわりなども、同じように研究者たちの執念や努力が生み出してきたものです。

宇宙は無限の可能性を秘めています。今や世界各国が宇宙開発を進めています。ただ、情報の収集やその処理と発信などには、十分注意してほしいと思います。

(議会広報特別委員長 小林武雄記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆9月議会定例会(予定)

- 会期 9月10日(火)~9月20日(金)
- 議事 (1)条例改正などの議案審議・採決 (2)一般質問 (3)決算認定議案審議・採決

※会期等が変更となる場合もあります。 ※詳しい日程等については、後日議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 ■82-1111 (内線701) ■82-6154 (直通)